

Party

旭川厚生病院広報誌

vol.9



特集

インフルエンザ

インフルエンザについて

インフルエンザウイルスの検査について

インフルエンザなどのワクチンについて

手洗いの方法について

■病院理念

私たちは、「最も信頼され選ばれる」病院をめざします。
患者さまの権利を尊重し、いつでも安心して受けられる医療の提供に努めます。
地域住民の健康を守り、農村・地域社会の発展に寄与いたします。

■患者さまの権利

私たちは、患者さまの権利を大切に考えています。

1. 患者さまの人権を尊重いたします。
2. 適切な医療を平等に受けることができます。
3. 治療方法を選択することができます。
4. 十分に納得いく説明をお求めになることができます。
5. 医療上の個人情報を守ります。
6. 転院、紹介を希望される場合は、必要な情報を提供いたします。

インフルエンザについて

旭川厚生病院 小児科 主任部長 坂田 宏

インフルエンザの症状

インフルエンザはインフルエンザウイルスによる感染症で、1日から5日間の潜伏期の後、急に38℃以上の発熱が出現し、咽頭痛、鼻汁、咳、頭痛、関節痛、筋肉痛などの症状を伴います。発熱は2～5日間続きますが、ほとんどの人は1週間以内に特別な治療をしなくてもなおります。ただ、乳幼児、高齢者、さらに心臓や肺に病気があったり糖尿病や悪性疾患など基礎疾患をもつ人では、肺炎になるなどより重症化したり、基礎疾患の悪化を招いたりすることもあります。さらに非常にまれではありますが、意識障害をきたす脳症を発症する、さらには最悪の場合死に至ることもある病気で、軽く考えてはいけません。

インフルエンザウイルスには多くの種類がありますが、ヒトに感染し、大きな流行をもたらすのはA型のうちのソ連型と香港型、B型の3種類です。話題となっている鳥インフルエンザは、今のところ人から人に強く感染することはないと考えられています。

インフルエンザの診断

インフルエンザを確定するには、のどや鼻からぬぐい液を採取してウイルスを分離したり、血液検査でインフルエンザに対する抗体価の上昇を確認しますが、結果が出るまでにかなりの日数がかかることから実際にはそれほど用いられていません。

現在広く行われているのが、インフルエンザ迅速検査です。のどや鼻腔ぬぐい液を採取して、30分以内に結果を判定できます。しかし、ウイルスの量が多くないとインフルエンザだったとしても陰性に判定されることがありますので、発症してからまもない時や十分な量の検査材料がなければ正しい判定はできません。できれば、発熱が出現して1日たってから検査することが望ましいと考えられています。

インフルエンザ流行中に、先ほどの症状が出現すれば、インフルエンザの検査をせずに症状だけでインフルエンザと診断することもあります。迅速検査で陰性であっても、インフルエンザである可能性もありますので、症状だけでイ

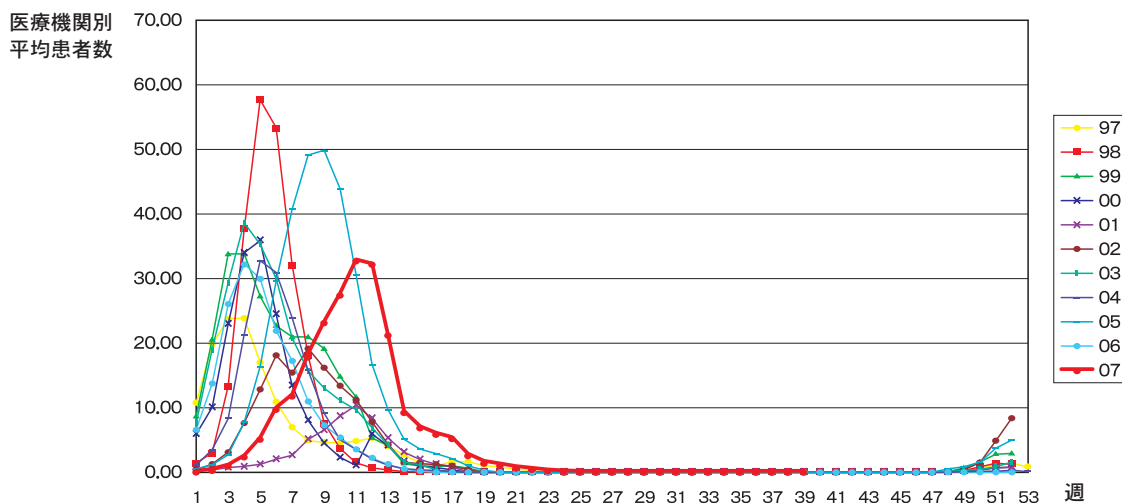


図1 過去10年間のインフルエンザ流行

1年の始まりから1週間ごとに定められた医療機関に受診したインフルエンザ患者の平均数を示しています。

ンフルエンザと診断することも一概に誤りではありません。しかし、インフルエンザには、軽症例や非特異的な症状を呈する例も多く、症状だけで診断するのは難しいことが少なくないのも事実です。

インフルエンザの予防

インフルエンザは、インフルエンザ患者の咳やくしゃみなどの飛沫と共に放出されたウイルスを、健康な人が鼻腔やのどに吸入することによって感染します。インフルエンザ患者の1m以内にいるとその危険性は高くなります。インフルエンザが流行している時には人混みは避けるべきです。

空気が乾燥すると、のどの粘膜が本来もっている感染防御機能が低下し、インフルエンザにかかりやすくなります。室内の湿度(50~60%)にも注意しましょう。外出時にはマスクの利用や帰宅時のうがいや手洗いは、効果が限られてはいますが、かぜの予防の基本としておすすめします。また、インフルエンザが飛沫で感染することから、飛沫の量やひろがる範囲をおさえるためにインフルエンザにかかっている方が咳やくしゃみをする時には必ずティッシュで鼻・口をおおってからしてください。マスク着用もしてください。

インフルエンザワクチンについて

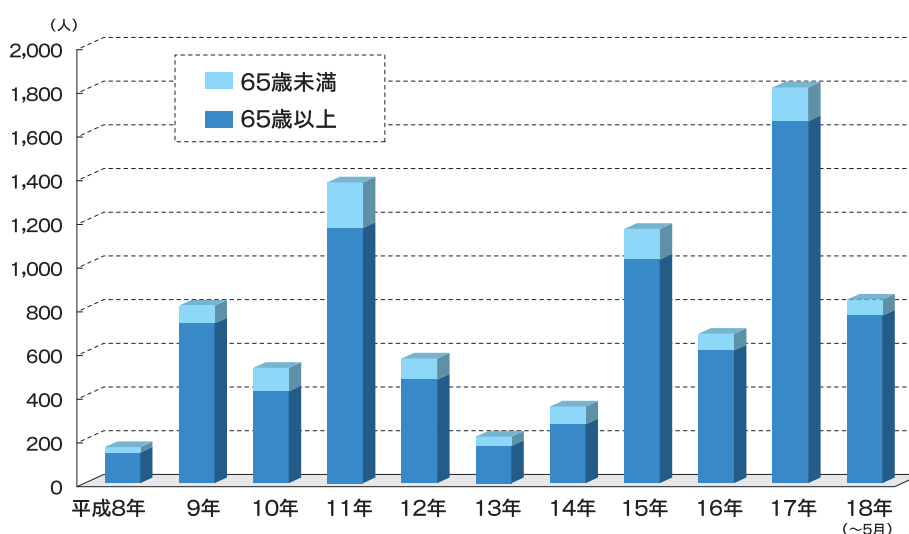
インフルエンザワクチンの接種を行うことで、インフルエンザによる重篤な合併症や死亡を予防することが期待できます。ワクチンの効果は、年齢、本人の体調、そのシーズンのインフルエンザの流行株とワクチン株が一致しているかで変わります。

アメリカではワクチン株と流行株が一致している場合には、65歳以下の健康成人での発症予防効果は70~90%と報告されています。自宅で生活している高齢者の場合は、60歳以上で予防効果は58%程度で、70歳以上ではさらに低下すると推測されています。また3~9歳の健康小児では56%の予防効果と報告されています。

日本では、65歳以上の健康な高齢者は約45%の発病を阻止し、約80%の死亡を阻止する効果があったとしています。1歳から6歳までの児では約20~30%の発病を予防する効果があったとしています。

タミフルなどインフルエンザに対する治療薬はありますが、感染しないようにするのが一番です。特に65歳以上の方や基礎疾患を有する方では、インフルエンザが重症化しやすいので、かかりつけの医師とよく相談のうえ、接種を受けておかれることをお勧めします。

インフルエンザの流行株は毎年変化しますし、ワクチン接種による重症化の予防に有効な免疫



資料：厚生労働省「人口動態統計」

図2 インフルエンザによる死亡者数

レベルの持続期間はおよそ5ヵ月間と考えられていますので、毎年シーズン前にワクチン接種を受けることが必要です。一般には、インフルエンザは年末から翌年3月までに流行することが多かったため、12月上旬までに接種すると、

流行期間中をのりきれはるはずですが、ここ2年は流行が2月に始まって7月ころまで続くことから、接種してもかかってしまう人が少なくありませんでした。流行の予想が年々は難しくなっています。



インフルエンザワクチンQ&A



最後に、インフルエンザワクチンについてよくうける質問をいくつか御紹介します。

Q：インフルエンザワクチンの副作用は？

A：平成18年度のインフルエンザワクチンによる副作用の報告状況等を厚生労働省が収集したものとすると、平成18年度のインフルエンザワクチンの推定使用量は約1,877万本でした。薬事法に基づき報告された副作用は、107症例、149件ありました。主な副作用は、急性散在性脳脊髄炎（白質脳脊髄炎）20件、発熱11件、発疹等8件、注射部位の紅斑・腫脹等8件、肝機能障害等7件、ショック・アナフィラキシー様症状7件、痙攣6件、ギラン・バレー症候群4件などでした。この中には、ワクチンとの因果関係が明らかになっていないものも含めています。接種後の死亡が5名となっていますが、はっきりワクチンによるとされた方はいません。

Q：インフルエンザワクチンは1回？2回？

A：過去に何度もインフルエンザにかかったり、ワクチンを接種している成人では、1回接種するだけで過去に獲得している免疫が高められるので1回だけの接種が主流です。小児は当然、成人に比べればインフルエンザにかかっていることもワ

クチン接種の回数も少ないわけですので、やはり2回接種した方が効果が期待できるとされています。

Q：タマゴアレルギーがありますが接種できますか？

A：インフルエンザワクチンが鶏卵を利用して作られることから、タマゴアレルギーがある人は接種できないと思われる方が少なくありませんが、タマゴアレルギーでも接種できる場合もありますので、かかりつけ医で御相談してみましよう。

Q：妊娠中ですが、接種できますか？

A：インフルエンザワクチンはインフルエンザウイルスそのものが含まれているわけではなく、病原性は全くありません。ですから妊婦や授乳中の方も、インフルエンザワクチンは可能です。

インフルエンザウイルスの検査について

旭川厚生病院 臨床検査技術部門

はじめに

インフルエンザにはA・B・Cの3型がありますが、冬季に流行しよく知られているのはA型とB型です。6年ほど前からインフルエンザの型別検査が簡単にできる検査試薬が発売されはじめ、現在は多くの医療機関でインフルエンザ検査試薬を備えております。当院、検査部門でもA型・B型両方を区別して迅速診断できるものを用意し、30分以内に結果が出せるようになっていきます。

検体の採取

皆さんも一度は経験があると思いますが、病院で鼻やのどの奥に長い綿棒を入れられたことがあるでしょう。インフルエンザ検査のときも同じように検体を採取しますが、大きく分けて3つの採取方法があります。

- ①鼻腔ぬぐい液（鼻の奥に綿棒を挿入し、数回擦るようにして綿棒を引き抜きます）
- ②咽頭ぬぐい液（のどの奥に綿棒を挿入して、粘膜表皮を採取します）
- ③鼻腔吸引液（吸引用チューブを鼻の奥に挿入し、鼻汁を採取します）

当院では、上記①または②により検査をおこなっています。陽性率は採取の手技にも影響されますが、通常は①を100%としたとき②は80%程度の陽性率（感度）しかないようです。

インフルエンザキットによる検査

検体を採取したあと、実際にどのようにしてインフルエンザの検査をおこなっているか知っている方は少ないと思いますが、実は簡単に検査できる専用キットを使って検査しています。

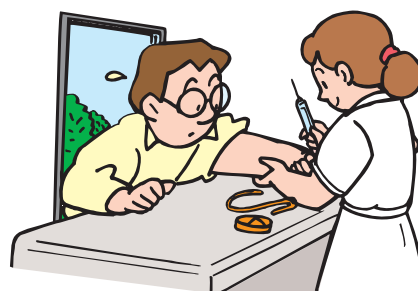
- ①採取した綿棒を検体処理液に入れてよく絞り出し、検体抽出液を作ります。



- ②検体抽出液を、反応カセット（キット）に数滴々下します。



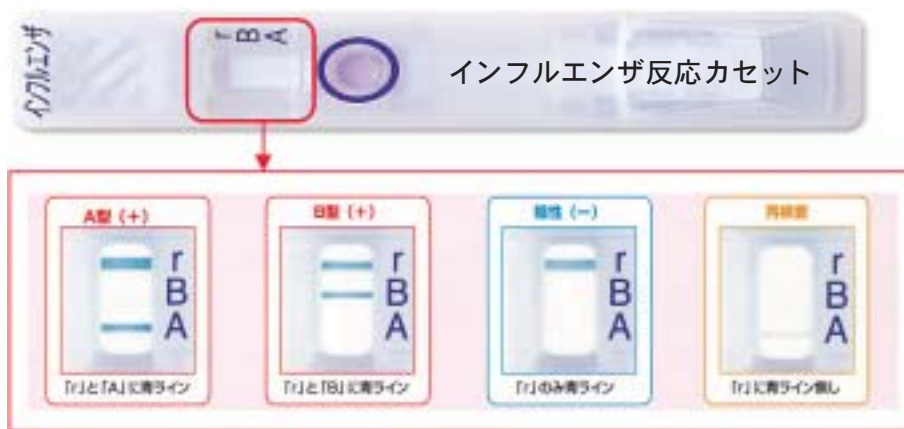
- ③15分後に判定部のラインの有無により、陽性・陰性の判定をします。



結果の判定方法

判定は簡単で、Aとr（コントロール部位）

にラインが出ればA型、Bとrにラインが出ればB型、rのみにラインが出れば陰性と判定します。ただし、AやBにラインが出て、rにラインが出ないときは検査無効となります。



インフルエンザ検査Q&A



Q 1 検体に血液が混入した場合、測定結果に影響はありますか？

A 1 血液の混入量が多くなれば反応が阻害され偽陰性となる可能性があります。しかしインフルエンザ抗原が十分な量存在すれば、わずかな血液混入は結果に影響ありません。

Q 2 インフルエンザの疑いがありますが、判定結果は陰性でした。

A 2 発症後間もない時期ではインフルエンザウイルス量が充分量増えていなく陰性となる場合があります。また検体採取の際にウイルスが綿棒に充分量吸着しなかった場合にも陰性となります。インフルエンザを疑う場合には、時間をおいて再検査や流行や症状の確認などを行い総合的に判断します。

Q 3 ワクチン接種によって検査結果が陽性となることがありますか？

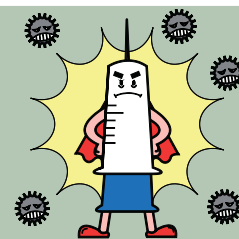
A 3 ワクチンはインフルエンザウイルス表面にある赤血球凝集素（HA）を成分にしたものです。前述の検査は、インフルエンザウイルスの核タンパク質を検出しますのでワクチン接種による影響はありません。

Q 4 インフルエンザA型には多種の亜型が存在しますが、見逃しはありますか？

A 4 当院で採用している検査試薬は、インフルエンザウイルスの核タンパク質の共通抗原を認識していますので、理論上検出できます。

インフルエンザなどの ワクチンについて

旭川厚生病院 薬剤科



はじめに

冬も近くなり、空気の乾燥した時期になってきました。そろそろ、インフルエンザの流行の時期が近づいてきています。インフルエンザの予防策としては、ワクチンの接種が有効です。そこで、今回はワクチンについて少々説明させていただきます。

ワクチンの種類

ワクチンには大きく分けて3つの種類があり、下表のように分類されます。一般に不活化ワクチンやトキソイドは一定の期間が経過すると免疫力が低下してしまうので、追加接種が必要となります。

生ワクチン	<ul style="list-style-type: none"> ・ポリオワクチン ・麻しんワクチン ・水痘ワクチン ・風しんワクチン ・あたふくかぜワクチン
不活化ワクチン	<ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザワクチン ・DPT（ジフテリア・百日せき・破傷風混合）ワクチン
トキソイド	<ul style="list-style-type: none"> ・DT（ジフテリア・破傷風混合）トキソイド ・破傷風トキソイド

ワクチンによる副反応

・生ワクチンによる場合

極めて稀に接種後24時間以内に発熱等が起きることがあります。副反応としては、弱毒化したウイルスによる感染症状を呈します。



・不活化ワクチンによる場合

局所反応として注射部位の発赤、硬結、疼痛等がみられます。全身反応としては、アナフィラキシーショック、蕁麻疹等のアレルギー反応、発熱（高熱）等があげられます。不活化ワクチンによる全身反応は接種直後から24時間以内、遅くとも48時間以内に発現します。

予防接種の接種間隔

あらかじめ混合されていない2種以上のワクチンを接種する場合は、不活化ワクチン及びトキソイド接種の場合は6日以上の間隔をあけます。これは、1週間経てばワクチンによる反応がほぼなくなるためです。また、生ワクチン接種の場合は、ウイルスの干渉を防止するため、あるいは副反応が起こるかもしれない時期をはずすため27日以上間隔をあけて次のワクチンを接種します。同じ種類のワクチンを複数回接種する場合には、ワクチン毎に接種間隔が定められています。例えばインフルエンザワクチンを接種した場合、別のワクチンを接種するには6日以上（インフルエンザワクチンは不活化ワクチンに分類されているため）の間隔をあければ次のワクチンを接種できますが、2回目のインフルエンザワクチンを接種する際には1～4週（4週が望ましい）の期間をあけることが必要です。

ワクチンを複数種接種される方は、接種間隔を考慮し、予防接種のスケジュールを考えることも大切です。

今年は10月に、札幌でインフルエンザの感染者が発生しました。例年より1～2ヶ月ほど早い流行が予測されますので、自分の身を自分で守るために早めのワクチン接種をお奨めします。

今年は10月に、札幌でインフルエンザの感染者が発生しました。例年より1～2ヶ月ほど早い流行が予測されますので、自分の身を自分で守るために早めのワクチン接種をお奨めします。

正しい手洗いの方法

旭川厚生病院 看護部（リンクナース手洗いグループ）

手をぬらし、石けんを泡立てたら始めましょう。

私達の手にはたくさんのウイルスや細菌などが付着しています

☆正しい手洗いによって手に付着しているウイルス等を洗い流す事ができます

☆正しい手洗いは感染症予防の基本です

①手のひらをよくこする



②手の甲をのぼすようにこする



③指先・ツメの間を念入りにこする



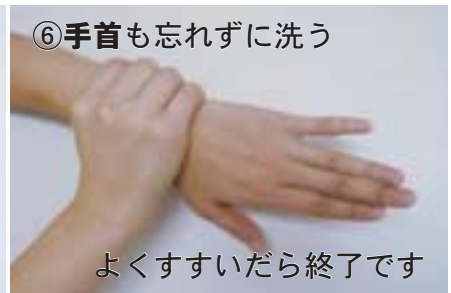
④指の間を洗う



⑤親指と手のひらをねじり洗います



⑥手首も忘れずに洗う



よくすすいたら終了です